

21伊生第 号  
平成21年12月 日

伊那市長 小坂 樫 男 様

伊那市ごみ減量化・資源化推進委員会  
委員長 橋爪 正

### 生ごみの減量化・資源化について(提言)

本委員会は、ごみの減量化・資源化のために行政その他関係機関がとるべき施策について、生ごみ、紙ごみ、3Rについて検討を進めているところですが、今回、生ごみの排出ゼロを目指して「生ごみの減量化・資源化」について、下記のとおり提言をいたします。

これらはいずれも本委員会の総意に基づくものでありますので、速やかに、かつ適切に実施していただけるものと期待します。

### 記

- 1 生ごみ減量化等モデル地区事業の導入を推進されたい。
- 2 生ごみ資源化施設の導入にむけての調査、研究を推進されたい。
- 3 生ごみの減量化・資源化のためのアイデアを掲載した分別パンフレットを作成されたい。
- 4 生ごみ処理容器等購入補助制度が有効に機能されているか検証を行い、その結果により制度の見直しをされたい。

## 提言内容の説明

### 1 生ごみ減量化等モデル地区事業の導入の推進について

伊那市生ごみ減量化等モデル地区事業として、平成20年12月に伊那市西箕輪の県営住宅大萱団地において、大型生ごみ処理機を導入しているところでありますが、その後新規に導入されていません。

導入に当たり地区等の協力体制が必要な事業であります。今後は市街地への導入や民間の集合住宅等への導入を視野に入れ、広く普及を図る取り組みをされたい。また、現在の生ごみ減量化等モデル地区事業の推進並びに、現設備の利用者の拡大を図る取り組みや、新たに集合住宅等が設置する大型生ごみ処理機の購入に際しての補助制度の検討をし、広く普及を図られたい。

### 2 生ごみ資源化施設の導入にむけての調査、研究の推進について

生ごみ減量化・資源化のため、本委員会では駒ヶ根市と佐久市の堆肥化施設を研修してきており、資源化施設の研究が必要と考えます。

生ごみ資源化施設の早期導入にむけて、今後、堆肥化や畜産農家との連携による飼料化等、どのような方法で進めるか、費用対効果も含めて早急に具体的な調査、研究をされたい。

### 3 生ごみの減量化・資源化推進のためのアイデアを掲載した分別パンフレットを作成について

広く市民に啓発活動を図ることは重要な施策と考えるところであり、既存のパンフレットの活用も含め、新たに啓発用「生ごみ版パンフレット」を作成し、生ごみの減量化・資源化のためのアイデアについて掲載をし、広く市民への啓発を図られたい。

### 4 生ごみ処理容器等購入補助制度の検証、その結果により制度の見直しについて

各家庭への生ごみ処理容器等購入補助制度は、生ごみ処理において有効であると考えられます。補助制度が有効に機能しているかを検証するため、被補助者に対して、処理容器等が有効に利用されているかの調査を実施されたい。